

---

# 2011年度 決算説明会

---

2012年 5月11日



三菱ガス化学株式会社

# 本日の出席者

---

取締役社長

酒井 和夫

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

山崎 慶重

特殊機能材カンパニープレジデント

宮内 雄

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

経営企画部担当

織作 正美

芳香族化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

財務経理センター長

杉田 克彦

# 目次

---

- |                   |     |        |
|-------------------|-----|--------|
| 1. 2011年度 業績について  | ... | P 4~10 |
| 2. 2012年度 見通しについて | ... | P11~14 |
| 3. セグメント別 比較      | ... | P15~24 |
| 4. 参考資料           | ... | P25~28 |

# 1. 2011年度 業績について

# 連結 2011年度(実績)

【単位:億円】

	2011年度	2010年度	増減	増減率
売上高	4,522	4,510	11	0.3%
営業利益	90	233	▲ 142	▲ 61.1%
(持分法利益)	(205)	(178)	(26)	(14.9%)
経常利益	261	363	▲ 102	▲ 28.2%
税前利益	254	239	15	6.4%
当期純利益	123	189	▲ 66	▲ 34.9%

1株当たり 当期純利益	27.2円/株	41.9円/株	▲ 14.6円/株
年間配当金	12.0円/株	8.0円/株	4.0円/株

- 販売価格は、メタノールなどの一部の化学品の市況が上昇。販売数量は、東日本大震災などの自然災害や経済環境悪化の影響を受け、全般的に減少。結果、売上高は微増。
- 営業利益は、化学品や合成樹脂などの販売数量減やマージン悪化、液晶向け一部製品や電子材料の販売不振などにより、142億円減益。
- 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心として、26億円の増益。
- 特別損益は、受取保険金12億円を計上するなど、前期比で118億円の改善。
- 当期純利益は、繰延税金資産の取崩もあり、66億円の減益。
- 配当金は年間12円/株に増配。

※ 本頁以下に記載されている数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

# セグメント別 連結 2011年度(実績)

【単位:億円】

	2011年度			2010年度			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,300	2,221	4,522	2,270	2,239	4,510	30	▲ 18	11
天然ガス系化学品	777	822	1,599	722	794	1,516	54	27	82
芳香族化学品	684	587	1,271	554	580	1,134	129	7	137
機能化学品	602	618	1,221	719	640	1,360	▲ 117	▲ 21	▲ 139
特殊機能材	282	236	518	320	275	595	▲ 37	▲ 38	▲ 76
その他	4	5	9	4	4	8	▲ 0	0	0
消去または全社	▲ 49	▲ 48	▲ 98	▲ 50	▲ 54	▲ 105	0	5	6
営業利益	75	15	90	126	107	233	▲ 51	▲ 91	▲ 142
天然ガス系化学品	4	▲ 0	3	▲ 5	18	13	9	▲ 19	▲ 9
芳香族化学品	7	▲ 17	▲ 10	3	▲ 0	2	4	▲ 17	▲ 13
機能化学品	37	37	75	85	65	151	▲ 48	▲ 27	▲ 76
特殊機能材	34	3	37	49	27	77	▲ 15	▲ 23	▲ 39
その他	2	0	2	1	1	2	0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲ 8	▲ 5	▲ 14	▲ 1	▲ 2	▲ 4

(参考)

持分法利益	104	101	205	77	101	178	26	▲ 0	26
-------	-----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	----

# セグメント別 連結 2011年度(四半期実績推移)

【単位:億円】

	2011年度				2010年度			
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
<b>売上高</b>	1,088	1,133	1,147	1,153	1,095	1,144	1,161	1,108
天然ガス系化学品	393	428	360	417	389	405	398	323
芳香族化学品	286	301	361	322	274	305	275	278
機能化学品	310	308	314	287	319	320	365	353
特殊機能材	116	119	131	150	133	141	142	177
その他	2	2	2	1	2	2	1	2
消去または全社	▲ 22	▲ 26	▲ 22	▲ 26	▲ 24	▲ 30	▲ 23	▲ 26
<b>営業利益</b>	▲ 1	16	19	55	34	72	63	62
天然ガス系化学品	0	▲ 1	▲ 2	6	4	14	2	▲ 8
芳香族化学品	▲ 10	▲ 7	1	6	▲ 9	9	4	▲ 1
機能化学品	15	22	12	24	26	38	42	43
特殊機能材	1	2	12	21	12	14	23	26
その他	0	▲ 0	1	0	0	0	0	1
消去または全社	▲ 8	0	▲ 6	▲ 4	▲ 0	▲ 5	▲ 9	1

(参考)

<b>持分法利益</b>	43	57	53	50	59	41	41	36
--------------	----	----	----	----	----	----	----	----

# 連結 2011年度 営業外損益・特別損益

	2011年度	2010年度	増減
<b>営業外損益</b>	170	130	40
持分法投資損益	205	179	26
金融収支	▲ 3	▲ 7	3
為替差損益	▲ 3	▲ 17	13
その他	▲ 27	▲ 24	▲ 4

【単位:億円】

<b>特別利益</b>	13	14	▲ 1
受取保険金	12	7	4
その他	1	7	▲ 6
<b>特別損失</b>	▲ 19	▲ 139	119
貸倒引当金繰入額	▲ 6	-	▲ 6
災害による損失	▲ 5	▲ 30	24
環境改善対策費用	▲ 4	▲ 2	▲ 2
投資有価証券評価損	-	▲ 64	64
その他	▲ 2	▲ 41	39

➤ 特別利益は、東日本大震災の損害に対する保険金など 13億円を計上。

➤ 特別損失は、19億円を計上し、前期比で 119億円改善。

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。



# 連結 2011年度 貸借対照表

【単位：億円】

	2012年3月末	2011年3月末	増減	メモ
<b>流動資産</b>	<b>2,540</b>	<b>2,445</b>	<b>95</b>	
現預金	274	479	▲ 205	上海PC建設費の支払いなど
売掛債権	1,220	1,120	100	
棚卸資産	760	682	78	
その他	284	163	121	
<b>固定資産</b>	<b>3,412</b>	<b>3,325</b>	<b>86</b>	
有形・無形固定資産	1,944	1,810	134	設備投資：424億円、減価償却：277億円、除却など：▲13億円
投資有価証券	1,329	1,310	18	
その他の資産	138	204	▲ 65	
<b>資産合計</b>	<b>5,952</b>	<b>5,770</b>	<b>182</b>	
<b>負債</b>	<b>3,031</b>	<b>2,887</b>	<b>143</b>	
買掛債務	694	601	93	
有利子負債	1,851	1,826	25	
その他	485	460	25	
<b>純資産</b>	<b>2,921</b>	<b>2,882</b>	<b>38</b>	
株主資本	3,146	3,062	83	自己資本比率
その他の包括利益累計額	▲ 329	▲ 281	▲ 47	2012年3月末：47.3%、2011年3月末：48.2%
少数株主持分	104	101	2	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,952</b>	<b>5,770</b>	<b>182</b>	

# 連結 2011年度 キャッシュフロー計算書

	2011年度	2010年度	増減
営業キャッシュフロー	373	397	▲ 24
税前利益	254	239	15
減価償却費	277	289	▲ 11
持分法投資損益	▲ 205	▲ 178	▲ 26
持分法適用会社からの配当金受取額	182	77	104
運転資金等	▲ 82	18	▲ 100
法人税等支払額	▲ 53	▲ 48	▲ 5
投資キャッシュフロー	▲ 372	▲ 246	▲ 126
設備資金	▲ 342	▲ 232	▲ 110
投融資資金等	▲ 29	▲ 13	▲ 15
財務キャッシュフロー	▲ 98	▲ 18	▲ 80
借入増減等	▲ 46	26	▲ 72
配当金支払	▲ 52	▲ 44	▲ 7
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 12	▲ 30	17
現金及び現金同等物の増減	▲ 110	102	▲ 213
現金及び現金同等物の期首残高	467	360	107
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	0	4	▲ 4
現金及び現金同等物の期末残高	357	468	▲ 110

【単位:億円】

## 2. 2012年度 見通しについて

# 連結 2012年度(予想)

【単位:億円】

	2012年度	2011年度	増減	増減率
売上高	5,000	4,522	477	10.6%
営業利益	180	90	89	98.2%
(持分法利益)	(200)	(205)	(▲ 5)	(▲ 2.6%)
経常利益	340	261	78	30.2%
税前利益	330	254	75	29.5%
当期純利益	280	123	156	127.1%

- 為替前提 80円/US\$
- 景況感の改善に伴い、販売数量は全般的に増加。販売価格も上昇を見込む。
- 営業利益は、全般的に化学品の販売数量の回復や販売価格の上昇によるマージン改善を織り込み、増益となる見通し。なお、減価償却方法の定率法から定額法への変更による改善を含む。
- 持分法利益は、海外メタノール生産会社が堅調に推移し、当期並み。
- 配当金は年間 12円/株を維持。

1株当たり 当期純利益	61.9円/株	27.2円/株	34.6円/株
年間配当金	12.0円/株	12.0円/株	0円/株

# セグメント別 連結 2012年度(予想)

【単位:億円】

	2012年度			2011年度			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,400	2,600	5,000	2,300	2,221	4,522	99	378	477
天然ガス系化学品	824	873	1,698	777	822	1,599	47	51	98
芳香族化学品	679	698	1,377	684	587	1,271	▲ 4	110	105
機能化学品	664	764	1,429	602	618	1,221	62	145	208
特殊機能材	280	312	592	282	236	518	▲ 1	76	74
その他	5	6	12	4	5	9	1	1	3
消去または全社	▲ 55	▲ 56	▲ 111	▲ 49	▲ 48	▲ 98	▲ 5	▲ 7	▲ 13
営業利益	80	100	180	75	15	90	4	84	89
天然ガス系化学品	2	19	22	4	▲ 0	3	▲ 2	20	18
芳香族化学品	13	4	17	7	▲ 17	▲ 10	5	21	27
機能化学品	44	52	97	37	37	75	6	15	21
特殊機能材	32	32	64	34	3	37	▲ 2	28	26
その他	1	2	3	2	0	2	▲ 0	1	0
消去または全社	▲ 12	▲ 11	▲ 24	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲ 2	▲ 3	▲ 5

(参考)

持分法利益	100	100	200	104	101	205	▲ 4	▲ 1	▲ 5
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

# 配当の推移

		2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (予想)
1株当り配当金	第2四半期末	4.0 円	6.0円	6.0円
	期 末	4.0 円	6.0円	6.0円
	合 計	8.0 円	12.0 円	12.0 円
配当金総額	第2四半期末	18億円	27億円	27億円
	期 末	18億円	27億円	27億円
	合 計	36億円	54億円	54億円
1株当り当期純利益	期 末	41円92銭	27円28銭	61円96銭
配当性向(連結)	合 計	19.1%	44.0%	19.4%

### 3. セグメント別比較

(2010年度実績/2011年度実績/2012年度予想)

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2011年度(実績)			2012年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	723	794	1,516	777	822	1,599	824	873	1,698
営業利益	▲ 5	18	13	4	▲ 0	3	2	19	22

## 2011年度(実績)

### ➤ メタノール

市況が高水準で推移(アジア市況:\$295 → \$367)し、ブルネイ・ベネズエラの新規プラントが、当期は期初から寄与したことによる販売数量の増加もあり、増収。

### ➤ メタノール・アンモニア系化学品

アンモニアの収益は、市況が上昇したことから前期を上回ったが、ネオペンチルグリコールやアミン類の採算悪化などにより、減収減益。MMAは、販売数量は増加したが、海外市況の下落により、損益は前期並み。

### ➤ 酵素・補酵素類

コエンザイムQ10の販売数量は増加したものの、円高の影響などにより、損益は前期を下回る。

### ➤ エネルギー販売

原油販売価格の上昇により増収増益。

## 2012年度(予想)

引き続き市況が高水準で推移(アジア市況価格:\$367 → \$370)するとともに、販売数量も増加し、増収の見込み。

アンモニア市況は高水準を維持し、MMAやネオペンチルグリコール、アミン類は景気回復による販売数量の増加や市況上昇を見込む。

コエンザイムQ10の販売数量拡大と価格是正に注力し、収益改善を図る。

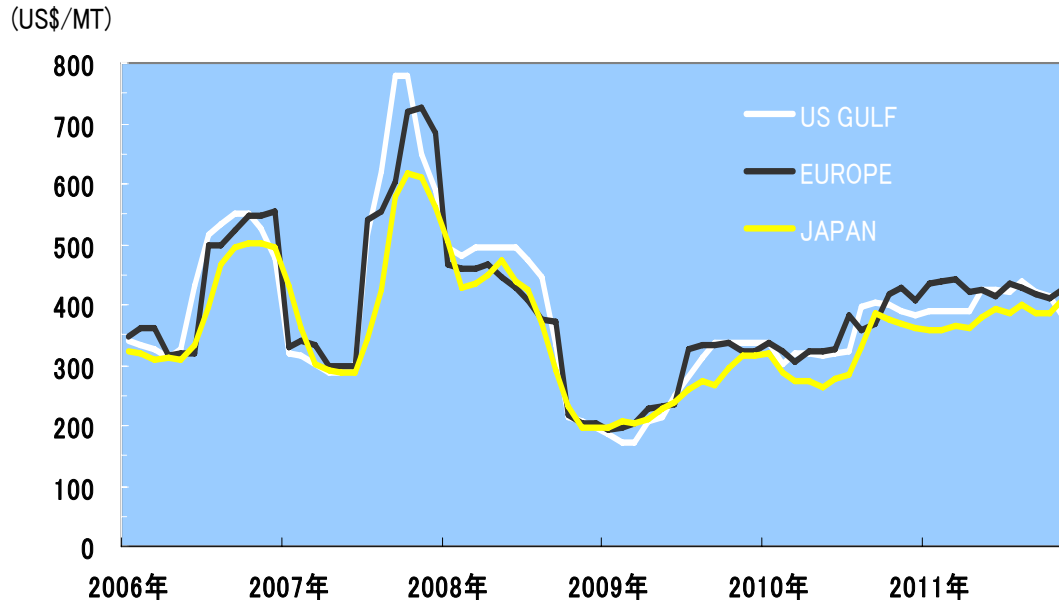
原油販売価格が堅調に推移し、損益は当期並み。



# 天然ガス系化学品

## メタノール価格の推移、持分法利益の動向

### メタノール価格の推移



### 持分法利益の動向

#### 2011年度 実績

需要は、中国の燃料用途を中心に堅調に増加。

供給は、各地の大型プラントのトラブルが続き稼働が不安定。

市況が高水準で推移し、海外メタノール生産会社の持分法利益は前期比で増加。

#### 2012年度 予想

引き続き好調な需要に支えられ、市況は高水準で推移。持分法利益は当期並みの見込み。

#### (2012年以降の見通し)

当面、新規の大型プラント建設の予定がなく、中国の石炭原料プラントが市況の上下に応じて稼働と停止を繰り返す。アジアスポット平均価格は、350～400ドルの範囲で推移すると想定。

# 天然ガス系化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ SPG-PET「ALTESTER®」:耐熱透明ポリエステル樹脂               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 食品・電子部品の包装材料として市場開発を推進</li> <li>⇒ 新潟工場に1,800t/yのセミコマーシャルプラントを建設(2012年9月完工予定)</li> </ul> </li>   <li>◇ ピロロキノリンキノン(PQQ):健康食品素材               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 米国での本格マーケティング中</li> <li>⇒ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討</li> </ul> </li>   <li>◇ 抗体医薬               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 台湾の抗体医薬品開発ベンチャー(グリコネックス社)と業務提携</li> <li>⇒ 抗体製造プロセス開発受託事業(CRO)と治験薬製造受託事業(CMO)に参入</li> </ul> </li> </ul>

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2011年度(実績)			2012年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	554	580	1,134	684	587	1,271	679	698	1,377
営業利益	3	▲ 0	2	7	▲ 17	▲ 10	13	4	17

## 2011年度(実績)

### ▶ 特殊芳香族化学品

メタキシレンジアミンは、欧州向けを中心とする販売数量の減少や円高、原燃料価格の上昇などにより、減収減益。

MXナイロンは、震災やタイ洪水の影響で自動車向けなどのエンジニアリングプラスチック用途への販売数量が減少したが、食品包装材料やPETボトルのガスバリア用途の需要が堅調に推移し、前期並みの収益。

芳香族アルデヒドは、堅調な需要に支えられ、前期並みの収益。

### ▶ 高純度イソフタル酸

販売数量、販売価格ともに前期を上回ったが、円高や原燃料価格の上昇の影響を受け、損益は前期より悪化。

## 2012年度(予想)

メタキシレンジアミンは、景気回復による販売数量の増加により、増収増益を見込む。

MXナイロンは、自動車向けエンジニアリングプラスチック用途の回復や新規需要の獲得による拡販を見込む。

芳香族アルデヒドは、新規需要の獲得による収益拡大を図る。

中国を中心としたPET需要増による販売数量の増加を見込むとともに、販売価格の是正を図り、増収増益を見込む。

# 芳香族化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
メタキシレンジアミン	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 現行能力 水島工場2万5千t/y 新潟工場3万t/y</li> <li>⇒ 2013年に水島工場で5千t/yの増強を計画中</li> <li>⇒ 2015年に海外で4万t/yの新設を計画中</li> </ul>
新規製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 高耐熱性無色透明ポリイミドフィルム「ネオプリム®」 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ フレキシブルディスプレイ、液晶パネルのガラス基板代替材料向けなどに市場開発を推進中</li> <li>⇒ 2015年度までに商業化を目指す</li> </ul> </li> <li>◇ 核水添ポリカルボン酸 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして実需化</li> <li>⇒ 水島工場にセミコマーシャルプラントを建設(2012年4月より稼働)</li> </ul> </li> <li>◇ 耐熱バイオベースポリアミド「LEXTER®」 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 植物由来(ヒマシ油)のセバシン酸が原料</li> <li>⇒ 新潟工場のMXナイロン装置での量産試験完了</li> </ul> </li> </ul>

【単位：億円】

	2010年度(実績)			2011年度(実績)			2012年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	719	640	1,360	602	618	1,221	664	764	1,429
営業利益	85	65	151	37	37	75	44	52	97

## 2011年度(実績)

### ➤ 工業用無機薬品

震災による鹿島工場の生産停止や国内需要の低迷により、過酸化水素などの販売数量が減少し、減収減益。

### ➤ 電子工業用薬品

震災の影響により国内向け超純過酸化水素の販売数量が減少。半導体・液晶向けのハイブリッドケミカルは、前期を上回る収益。海外子会社も堅調に推移。

### ➤ エンジニアリングプラスチック

PCは、震災による鹿島工場の生産停止や国内需要の減少などにより減収減益。POMIは、海外を中心に堅調に推移したが、タイ洪水の影響もあり、増益は小幅。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの需要が大きく減少し、減収減益。

## 2012年度(予想)

震災影響を受けた過酸化水素などが、国内需要の回復により販売数量の増加を見込み、増収増益。

超純過酸化水素は、国内需要の回復と海外需要の伸長を見込む。ハイブリッドケミカルは、半導体向け販売数量が増加するが、液晶向けは低調に推移。海外子会社は総じて堅調に推移する見込み。

PCは、国内需要の低迷が続くが、震災影響のあった当期よりは増収増益。上海PCは初年度の固定費負担が重い。POMIは需要回復により、増収増益を見込む。

PCシート・フィルムは、フィルムやハードコートシートの新規グレード投入により、増収増益を図る。

# 機能化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
電子工業用薬品	◇ 海外子会社(米国・韓国・台湾・シンガポール)で、超純過酸化水素の増設工事中 ⇒ 合計95,000t/y増(2011年から2012年にかけて順次営業運転開始予定)
ポリカーボネート	◇ 中国 上海 8万t/y 完工(2012年5月商業運転開始予定) ⇒ 素材生産、コンパウンド、テクニカルサービスの一貫拠点を構築
ポリアセタール	◇ タイ 4万t/y 増設(2013年2Q商業運転開始予定) ⇒ 5千t/y増強の改造は完了 ◇ 韓国 3万5千t/y 増設(2014年1Q商業運転開始予定)
ハードコートシート	◇ スマートフォン向けカバーガラス代替用途の新規グレードを市場展開中

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2011年度(実績)			2012年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	320	275	595	282	236	518	280	312	592
営業利益	49	27	77	34	3	37	32	32	64

## 2011年度(実績)

## 2012年度(予想)

### ➤ 電子材料

BT材料は、被災した生産子会社の復旧直後は、一時的に高水準の受注があったものの、その後は汎用用途を中心に需要低迷が続き、減収減益。

BT材料は、最先端の半導体分野の他、汎用用途への拡販を図る。各種コスト削減にも努め、増収増益を見込む。

### ➤ 脱酸素剤

主用途である国内食品分野の他、海外医療分野での販売数量が増加し、増収増益。

国内外ともに販売数量が堅調に推移し、増収増益を見込む。

# 特殊機能材 設備投資・製品開発動向

件名	動向
BT材料	◇ タイでの第2拠点建設を決定 ⇒ 生産能力25万m <sup>2</sup> /m ⇒ 2013年4月完工、同年末商業運転開始予定
高性能エポキシ材料	◇ 中国企業に生産委託を開始し、中国市場に展開 ⇒ 2012年度の半ばに量産開始予定



## 4. 參考資料

# セグメント別 連結経常利益の推移

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2011年度(実績)			2012年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	172	191	363	162	99	261	160	180	340
天然ガス系化学品	37	78	115	81	70	152	74	88	163
芳香族化学品	▲ 3	▲ 3	▲ 7	1	▲ 23	▲ 21	6	▲ 6	▲ 0
機能化学品	88	82	171	44	40	84	43	58	102
特殊機能材	49	25	75	33	3	37	30	32	63
その他	9	13	23	9	6	16	8	9	18
消去または全社	▲ 9	▲ 4	▲ 13	▲ 9	1	▲ 7	▲ 3	▲ 3	▲ 6

# 各種指標(1)

## 1. 各種指標推移(連結)

(単位: 億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 予想
設備投資額 (うち第2四半期累計)	175 132	295 147	394 160	351 193	276 141	354 146	424 224	350 230
減価償却費 (うち第2四半期累計)	188 94	注) 198 91	245 110	289 135	295 137	290 138	277 134	230 110
研究開発費 (うち第2四半期累計)	106 55	115 58	136 66	147 67	162 74	164 74	174 88	165 82
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,216人	5,360人
一株当り 当期利益	71.0円	86.6円	87.0円	15.3円	12.9円	41.9円	27.2円	61.9円
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	4.5%	5.5%
ROE (自己資本利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	4.4%	9.7%
配当額 (うち第2四半期末)	10.0円 4.0円	14.0円 6.0円	16.0円 8.0円	16.0円 8.0円	8.0円 4.0円	8.0円 4.0円	12.0円 6.0円	12.0円 6.0円

注) 2006年度の減価償却費は、特損に計上した88億円を除いた額となっております。

2012年度予想の減価償却費は、定率法から定額法への変更の影響額(62億円減)を含みます。

## 2. セグメント別 設備投資額・減価償却額(連結)

(単位: 億円)

		2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績
設備 投資 額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	71	140	139
	芳香族化学品	47	75	172	106	77	45	47
	機能化学品	69	87	74	91	81	148	216
	特殊機能材	32	70	92	47	45	18	18
	その他	0	0	0	0	1	3	1
減価 償却 費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	75	86	77
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	78	77
	機能化学品	71	80	96	97	86	80	84
	特殊機能材	35	36	42	51	51	42	35
	その他	0	0	0	0	4	4	3

# 各種指標(2)

## 3. 業績前提

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度実績		2008年度実績		2009年度実績	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	279	238	276	376	332	398	424	336	195	246
原料キシレン (円/kg)	69	83	99	96	108	103	122	56	72	73
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900
為替 (円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90

	2010年度実績		2011年度実績		2012年度予想		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
メタノール (US\$/MT)	283	307	349	385	370	370	アジアスポット平均価格(出典:ICIS)
原料キシレン (円/kg)	71	84	96	96	104	104	公示価格
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,800 ~2,000	1,700 ~1,900	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	
為替 (円/US\$)	89	82	80	78	80	80	

※メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月を示す。

# お問い合わせ先

---

三菱ガス化学株式会社  
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

## <見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。